



長崎県  
中小企業家同友会

DOYU

ニュース  
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp  
U R L https://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

## 「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく」 ～同友会の学びで時代の変化をチャンスに!～

### 2020年 賀詞交歓会 開催!!

日時：1月17日(金) 会場：ホテルニュー長崎



令和最初の賀詞交歓会は、金井代表理事の2022年「人を生かす経営全国交流会」の長崎開催の決定報告から始まりました。懇親会終盤にあらためて案内がありましたが、「人を生かす経営全国交流会」は中小企業家同友会の基本的な考えである労使見解を学び、更にはそれを深めていく最たる機会であることが紹介されました。

記念講話は帝国データバンク本田敏信様より「長崎県経済今年の展望」についてお話いただきました。冒頭に総論としての地元経済界の業況はかなり厳しさを増していることが報告されました。まずは人口流出問題を指摘され、昨年の長崎市の人口減が5,339名、これは一昨年の全国ワースト1をさらに上回る数字です。佐世保市の流出人口も2,613名で、県内では悪化

の一途を辿っています。これを官民一体となって食い止めるのが急務であることを指摘されました。そんな中、人口増の自治体として大村市と佐々町が紹介され、大村市の県立図書館建設、佐々町の西九州道路がもたらす事例が、ひとつの好例として紹介されました。

続いての指摘が中小企業の事業承継問題です。帝国データバンクが県内企業25,000社に事業承継についてのアンケートをしたところ、「後継者がいない」と回答した企業が全体の半数を上回る63%、なんと16,000社弱の企業にのぼったとのことでした。実際に後継者不在で廃業した会社が昨年は280社ほどあったそうです。経営者は社員満足の向上に努め、人がやめない組織づくりの構築が必要で、その一端として、世代間のギャップを埋めるべく、日々のコミュニケーションをしっかりとることを進言されました。年齢によって



## 目次

|                               |    |           |    |
|-------------------------------|----|-----------|----|
| 2020年 賀詞交歓会 開催報告              | 1  | 会員活躍      | 15 |
| 2020年 賀詞交歓会 ご来賓一覧             | 2  | 事務局企業訪問   | 16 |
| 各界からの提言                       | 4  | 新入・交代会員紹介 | 17 |
| 1月例会報告                        | 5  | 理事会報告     | 18 |
| 中同協 第3回幹事会九州・沖縄ブロック代表者会議 参加報告 | 11 | 会員動向・会員数  | 19 |
| 2019年度 第2回 中同協経営労働委員会 参加報告    | 12 | 3月例会案内    | 20 |
| ダイヤモンドクラブ 新年会 開催報告            | 14 |           |    |



異なる日常使われる言葉を互いに理解すること、また会社の利益が何たるかをきちんと理解してもらうための勉強会の推奨などがなされました。身近な問題に対する示唆に富んだ講和を聞かせていただきました。

そして懇親交流会が賑やかに開催され、ご来賓の皆様、



様、会員各位が交流を深めることができました。

(文責 副代表理事 山領 進)

## 2020年 賀詞交歓会 ご来賓の皆様

(順不同)

|                          |         |         |         |
|--------------------------|---------|---------|---------|
| 長崎県 副知事                  | 上田 裕司 様 | 長崎県議会議員 | 八江 利春 様 |
| 衆議院議員                    | 富岡 勉 様  | 長崎県議会議員 | 小林 克敏 様 |
| 五島市長                     | 野口市太郎 様 | 長崎県議会議員 | 浅田眞澄美 様 |
| 長崎県 産業労働部 部長             | 廣田 義美 様 | 長崎県議会議員 | 中島 浩介 様 |
| 衆議院議員 西岡秀子事務所<br>事務局長    | 一ノ瀬浩史 様 | 長崎県議会議員 | 大久保潔重 様 |
| 衆議院議員 加藤寛治事務所<br>秘書      | 詫間 英介 様 | 長崎県議会議員 | 吉村 洋 様  |
| 衆議院議員 谷川弥一事務所<br>秘書      | 南 雄次 様  | 長崎県議会議員 | 山口 経正 様 |
| 衆議院議員 北村誠吾事務所<br>事務局長    | 田村 繁幸 様 | 長崎県議会議員 | 大場 博文 様 |
| 参議院議員 金子原二郎事務所<br>長崎事務所長 | 高山 雄彦 様 | 長崎県議会議員 | 中村 一三 様 |
| 参議院議員 古賀友一郎事務所<br>秘書     | 八木美弥子 様 | 長崎県議会議員 | 宮島 大典 様 |

|                               |         |  |                 |
|-------------------------------|---------|--|-----------------|
| 長崎県議会議員                       | 饗庭 敦子 様 | 日本政策金融公庫 佐世保支店<br>総括課長                           | 古賀 隆二 様         |
| 長崎県議会議員                       | 中村 泰輔 様 | 商工組合中央金庫 長崎支店<br>支店長                             | 柏木 二郎 様         |
| 長崎県議会議員                       | 赤木 幸仁 様 | 十八銀行 本店営業部<br>融資第2課 課長                           | 清崎 俊介 様         |
| 長崎県議会議員                       | 川崎 祥司 様 | 親和銀行 長崎営業部 部長                                    | 山川 信彦 様         |
| 長崎県議会議員 山田博司事務所<br>秘書         | 江頭 真美 様 | 長崎銀行 常務取締役                                       | 田口 直司 様         |
| 長崎県 産業労働部 産業政策課<br>課長         | 小林 純 様  | 西日本シティ銀行 長崎支店<br>支店長                             | 田中 耕一 様         |
| 長崎市 商工部 部長                    | 田中 洋一 様 | 長崎大学 障がい学生支援室<br>助教                              | ピーター<br>バーニック 様 |
| 大村市 産業振興部 商工振興課<br>課長         | 浦山 優 様  | 長崎総合科学大学 学長                                      | 池上 国広 様         |
| 長崎県商工会連合会 会長                  | 宅島 壽雄 様 | NBC 長崎放送 取締役                                     | 梅田 泰彦 様         |
| 長崎県中小企業団体中央会<br>事務局長          | 井上 一幸 様 | NCC 長崎文化放送<br>代表取締役社長                            | 壹岐 正 様          |
| 長崎県信用保証協会 常勤監事                | 小柳 立身 様 | 日本経済新聞社 長崎支局<br>支局長                              | 古宇田光敏 様         |
| 日本貿易振興機構ジェトロ長崎貿易<br>情報センター 所長 | 松尾 修二 様 | 朝日新聞社 長崎総局 総局長                                   | 前島慶太郎 様         |
| 日本政策金融公庫 長崎支店<br>支店長兼国民生活事業統轄 | 淵上 眞吾 様 | 中小企業基盤整備機構<br>ながさき出島インキュベータ<br>チーフインキュベーションマネージャ | 宮本 美砂 様         |
| 日本政策金融公庫 長崎支店<br>中小企業事業統轄     | 大下 明史 様 | 大村市産業支援センター<br>センター長                             | 若杉 誠司 様         |

ご臨席 誠にありがとうございました。

長崎新聞 1月22日



「人を生かす経営全国交流会」の本県開催の決定報告などがあった賀詞交歓会。長崎市大黒町、ホテルニュー長崎

「人を生かす経営全国交流会」の本県開催が決まったことを報告し、「22年は長崎同友会が50周年となる年。そこに向けて会員と共に頑張っていきたい」と述べた。鏡開きの後、乾杯で本県の発展を願った。  
(白石彩乃)

170人賀詞交歓会  
県中小企業家同友会  
県中小企業家同友会の賀詞交歓会が17日、長崎市内であり、会員ら約170人が出席した。

# 各界からの提言

たちばな信用金庫 理事長 塚元 哲也



## プロフィール

昭和36年11月 諫早市生まれ。  
長崎県立諫早高等学校、熊本大学法学部卒業。  
昭和61年4月 諫早信用金庫入庫。  
(平成11年11月合併によりたちばな信用金庫)  
たちばな信用金庫道の尾支店長、本店営業部長、常勤理事兼業務部長を経て平成26年6月理事長就任。

長崎県中小企業家同友会におかれましては、昭和47年の発足以来、「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」の三つの目的と、会員相互の強い結束のもと、会員企業の発展はもとより、地域の中小企業の発展に尽力されておられますことに対しまして深く敬意を表します。

たちばな信用金庫は去る令和元年12月8日をもって創立70周年を迎えました。地域の皆様に支えられ創立70周年を迎えられたことを心より感謝しつつ、今後も金融業務を通じて地域の皆様の事業や生活の繁栄をお手伝いし「地域になくてはならない金融機関」を目指して活動して参ります。

少子高齢化の進む現在において、長崎県でも人口減少が進んでおり、それとともに経済規模の縮小は避けられない状況です。このような状況の中、当金庫は長崎県に本店を置く唯一の信用金庫として、地域経済の発展に尽力することは最大の使命と位置付けております。この使命を果たすための具体的な施策として、平成29年9月に「たちばなビジネスクラブ未来」を創設しました。当クラブでは地域経済の未来を担う、若手経営者、後継者、経営幹部に加え、当金庫の役職員が、勉強会、研修会を通じて課題解決に努めるとともに、

相互の能力向上を図り、会員企業の発展、ひいては地域経済の発展へ寄与することを目的としています。当クラブ内においての人脈形成や会員同士の商取引など「クラブという域内でのカネ・ヒト・モノの循環」が発生しており、今後、その活動を活性化していくことにより、経済のみならず地域社会の発展に貢献することを期待しております。

また、新しい取組みとして「よい仕事おこしネットワーク」という全国の信用金庫との連携を構築しました。信用金庫は全国津々浦々47都道府県すべてに有り、その数255金庫、7,300以上の店舗網、そこで働く役職員約11万人の巨大なネットワークがあり、「横の繋がり」が非常に強いのが特徴です。今回、その全国の繋がりを最大限活用してお客様の「売りたい、買いたい、連携したい」等のお困りごとを全国から集め、AIと信金職員を活用して課題を解決していくWEBサイトを立ち上げました。

当金庫は、これからも一人一人のお客様のご相談を通じて、お客様の課題は何かと考え、それを解決するために全力を投じ、お客様との強固な信頼関係を構築しながら、地元長崎県を明るく元気にしていくために、常に誠心誠意、真心を込めた活動を行って参ります。



## 長崎浦上支部 例会報告

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 日 時   | 1月28日(火) 18:30～21:00                  |
| 会 場   | 長崎新聞文化ホール・アストピア                       |
| テ ー マ | 楽しいゲームで人として成長できる伝達力<br>「人を生かす」の原点を知ろう |
| 報 告 者 | (株)マツモト 代表取締役<br>松本 一孝 会員             |



ワークショップ（体験型研修）形式での研修は、私自身初めての経験で、楽しみながら研修を終えることができました。

1グループ5～6名全員が、1組4個の木型を使って、文字や図形を完成させるという作業をします。各テーブルで順番にリーダーになり、リーダーは、講師の松本さんよりテーマをいただきます。私はTと言うテーマをいただきました。全員が他の人から見られないようについ立てをします。リーダーは言葉だけで、4個の木型を使ってTになる様に相手に伝えていきます。全員がTの形になれば、伝達力が優れていることとなります。

ワークショップで、自分ではしっかり伝えているつもりが相手にはほとんど伝わってなかったことが大変ショックでした。

「伝える」と「伝わる」の違いを言葉ではわかっている、実践して初めて、自分の伝達力の未熟さが分



かりました。

会社の中で「それは前に言ったやろう」ということがよくあります。自分は伝えたつもりが、実は社員さんには全く

伝わってなかったのだと深く反省しました。

最後に松本さんは、こうおっしゃいました。ありがとうございますの心を忘れないでください。そして、「ありがとうございます」と声を出して伝えてください。

ありがとうございますの言葉（高森顕徹心のタネより）

自分が一番苦労していると、各自思っている他人の良いところばかりが、目につき腹が立つ。ホンとは、一番のんびりしているのが私。みんなは、ギリギリ一杯努力しているのだ。これが事実と思えないから“おかげさまで”と感謝できず、ありがとうございますの言葉が出ない。皆さんは、ありがとうございますと言ってますか。

あなたの、一番大切な人に。

あなたの、一番そばにいる人に。

あなたの、奥様にありがとうございますと声を出して伝えてください。

(文責 森下 久太郎)

## 長崎出島支部 例会報告

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 日 時   | 1月21日(火) 18:00～20:30                 |
| 会 場   | ホテルニュー長崎                             |
| テ ー マ | 中小企業向けの政策と今後の展開<br>～中小企業の連携で地域の活性化を～ |
| 報 告 者 | 長崎市商工部次長兼産業雇用政策課長<br>本多 浩志 氏         |

長崎出島支部では今回初めての試みとして、現在長崎市で取り組まれている経済成長戦略の報告をしていただきました。長崎市が抱えている問題点、人口減少の現状や雇用促進、企業誘致、誘客事業補助金の活用



例など、現在取り組まれている政策の重要性、活用方



法などは中小企業が抱えている問題を解決するヒントになったのではないのでしょうか。

グループディスカッションは、「自社に必要な政策とは」というテーマで各テーブルに分かれて、自社課題に結び付けて行われ、自社に必要な政策はどのような場面でどのような職種、どのような規模でできるのだろうかとの多くの議論がなされていました。

懇親会でも、長崎市役所の方にご参加いただき、更なる懇親を深めることができたのではないかと思います。



います。

今回の報告は通常の報告と違い、「自社には関係ないのではないか」と言う方もおられたかと思いますが、長崎市の現状、取り組みを知り、また、その内容を一回だけでなく、二回三回と聞くこと、見ることで内容を理解し、自社に落とし込めるのではないかと感じました。地域社会の発展、商店街の衰退、人口減少など様々な問題がありますが、企業と企業の結びつき、企業と社会の結びつきを官民一体となって継続していくことに解決していく道がありその中にこそ、自社の発展に繋がる学びがあるのではないかと感じる例会でした。

(文責 本多 邦暁)

## 大村支部 例会報告

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 日 時 | 1月23日(木) 18:30~21:00 |
| 会 場 | 長崎インターナショナルホテル       |
| 内 容 | 慶祝例会                 |



毎年恒例の1月慶祝例会が今年も開催されました。これに先立ち、朝から市内富松神社にて、還暦祝い：山口成美会員 厄入り：佐藤敬弘会員・高峰良介会員 厄払い：田中勝茂会員の祈願を生野支部長はじめ数名の会員にも参列いただき、無事お払いをいただいております。

そして夜の部の慶祝例会が生野支部長の新年挨拶が始まりました。この度入会された樋本雄作会員のバッジ贈呈終了後、益田アドバイザーの乾杯の御発声のもと成大な交流会が始まりました。その後毎年恒例の大村支部全員による抱負の発表会が開催され、委員会別に登壇し一年の抱負を書いた色紙を片手に昨年の反省、今後の目標などを面白可笑しく語っていただきま

した。また今回4名のゲストにも抱負を言っていただきました。そして、その中の2名が入会決定しました。

中締め挨拶では金井代表理事に新年スタートにふさわしい今後の同友会メンバーとして気を引き締められる言葉をいただき、高瀬副支部長の閉会挨拶にて閉会となりました。今年もよいスタートになった例会だったと思います。



(文責 細名 久)

## 諫早支部 例会報告

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 日 時   | 1月23日(木) 18:30～21:00                  |
| 会 場   | ホテルフラッグス諫早                            |
| テ ー マ | まちづくりサミット in いさはや<br>～自分たちで「まち」をうごかす～ |
| 報 告 者 | (株)大幸企画 代表取締役<br>時 忠之 会員(県政策委員長・大村支部) |



大村市の事例を学びながら、これからの「わがまち」について意見を交わすというスタイルで、発展のヒントをつかむことを目的に開催されました。もはや行政頼みのまちづくりは限界に達しており、市民や企業家も一緒になって取り組むべきであり、そのためには活動のための「ルールブック（振興条例）」が必要になるということです。なぜならばルールブックがなければ、例えば市長が代わるたびに計画が変更になったり中止になったりするからです。

報告者の時さんは、大村商工会議所の副会頭でもあり、大村市の振興条例制定後、官民参加による振興会議を開催されている中心メンバーです。実際に関わっておられるので、事例がリアルでとても理解しやすかったです。

各地で人口減少問題が深刻化するなか、大村市は逆に人口が増加しており、特に子育て世代が増加しているように見受けられます。この差は？何でしょうか？



グループディスカッションでは、わがまちで「こんなこと、できたらいいな」というシンプルなテーマで「ランドマークをつくろう」「Wi-Fiを整備しよう」「学園都市にしよう」「魅力的な資源があるのに生かされていない」など、たくさんのアイデアや希望が出され大いに盛り上がりました。

今回は、他支部・YEG・若手銀行マン他、ゲスト様など20名、諫早支部から31名、計51名が参加し、後の懇親会席上では2名の新入会希望者ができました。「面白かった。同友会なら学べる。一緒に行動できる」という点が入会の動機でした。

3月19日には、まちづくりにSDGsを絡めた第二弾例会も企画されています。皆様のご参加をお待ちしております。

(文責 上野 辰一郎)

## 島原支部 例会報告

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 日 時   | 1月23日(木) 19:00～21:00               |
| 会 場   | HOTEL シーサイド島原                      |
| テ ー マ | 「選ばれる企業づくり」の実践                     |
| 報 告 者 | (株)LTU 取締役 総務部部长<br>野方 康平 会員(諫早支部) |

今回の1月例会は同友会で学びを本質的に実践されている野方さんに「選ばれる企業づくり」の概要を分かりやすく報告していただきました。会社のあるべき





姿、目指すべき姿を垣間見ることができました。

具体的にはITの導入による業務の効率化・見える化。これ一つとっても、会社の経営陣の社員を想う気持ちを社員とともに実践されていることで、会社内にプラスの循環が生まれることがはっきりと認識できました。また、教育制度の整備にも多くの工夫がなされており、社員さんが夢・希望を持って、やりがいを持って、気持ちよく働いておられる姿が想像できました。

経営計画書もしっかりした形でつくっておられるのですが、私が驚いたことはサービス規程の中でネームプレートをつける位置に社員間で乱れないようにするため、シャツ自体にプレートをつける位置を刺繍してあることでした。これだけ徹底していれば、間違えようがないし、毎日共に働いていく中で、社員間に一体感も自然と育まれていくだろうし、社員として引き締まった心で中途半端にしない、徹底して業務に励む習慣が会社内に自然とできるだろうと感心しました。



今回の報告にあった様々な取り組みが社員の幸せにつながり、それが取引先、お客様の満足・貢献につながり、ありがたい仕事となり、結果会社の価値が上がり、そしてまた社員へいろいろな面で還元できるようになっていくという理想的な形になっていること。これは同友会での学び ダイバーシティ・経営労働・共有・共同求人そのものでした。

(株)LTUもこれだけの整備を一朝一夕でできたわけではないと思います。度重なる苦勞・並々ならぬ努力を重ね、社員を想う気持ちを忘れずに徹底して取り組まれた結果なのだと思います。社員や家族を想う気持ちに会社の大きい小さいはないのですから、経営者としてやるべき大事なことをあらためて学ばせていただきました。

(文責 河原 邦昌)

## 佐世保支部 例会報告

|     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 日 時 | 1月21日(火) 18:30~21:00            |
| 会 場 | 魚魚の宿                            |
| 内 容 | 慶祝例会<br>~2020年のスタートを同友会の仲間と共に!~ |



1月は佐世保支部毎年恒例の慶祝例会として開催しました。

今回は会員や社員、ご家族の方の参加ができるという佐世保支部初の試みの慶祝例会となりました。その

効果で80名以上の参加となり、以前から80名以上参加でマグロの解体ショーができるという話が魚魚の宿にてあり、今回参加者80名を達成したので行うこととなりました。

慶祝例会の開始はまず、古希、還暦、厄入りの対象者へのご祈祷から始まります。今回の対象者は喜寿2名、古希1名、還暦3名、厄入り3名の計9名に対しご祈祷を行い、その後に新年祝賀会を行いました。

祝賀会では祝賀会を盛り上げようとチョコちゃんが登場する余興があり、また、慶祝例会の日の午前中に開





催された佐世保支部新年ゴルフコンペの表彰式が行われ、大変盛りあがりました。

また、マグロの解体ショーでは、なかなか見れないマグロと魚魚の宿の職人さんの解体の手さばきに見入っていました。解体したマグロはその場で刺身、握り寿司で提供されとても美味しかったです。

慶祝例会は佐世保支部で唯一の経営報告がない例会



です。ハメを外す所では外し、真面目にするところは真面目にする。このようなことが佐世保支部の今の雰囲気や勢いの良いところだと思いますし、経営者にとってもとても大事なことだと思います。そのことを慶祝例会に参加し強く感じました。今年も佐世保支部は活発に活動していきます。

(文責 府川 正樹)

## 北松浦支部 例会報告

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 日 時 | 1月21日(火) 18:30~20:30 |
| 会 場 | 松浦シティホテル             |
| 内 容 | 新年例会                 |



今回は、会員の親睦を深めることを目的とした、毎年恒例となっております新年例会を開催いたしました。

残念ながら、インフルエンザの流行や、他会とのブッキング等で参加者は少なめではありましたが、そ



れが感じられないほど、来年度の新体制を見据えて、会の改革、会員の増強、地域企業の発展に対して等々、活発な意見交換がなされ、寒さを一蹴する熱き会になりました。

を

(文責 前川 浩二)

# 資金繰りの心配から解放を!

ダイレクト・レスポンスマーケティングを導入し、貴社の売上拡大をお手伝いします。

令和2年2月1日より新事業(サービス)を開始しました。詳細は下記HPでご確認下さい。

<https://www.tknf.com/fukui>

福井義憲税理士事務所

検索

福井義憲税理士事務所 税理士 福井 義憲

福井 義憲 会員(長崎出島支部)

## 五島支部 例会報告

|       |   |
|-------|---|
| 日 時   | 1月24日(金) 18:30～21:00  |
| 会 場   | 福江文化会館  |
| テ ー マ | 出来んと思ったら出来ん、出来んと思ってやれば出来る<br>～今まで何事も一生懸命になれなかった私がショップオーナーになるまで～ |
| 報 告 者 | POLA AZ Bliss 代表者<br>松井 幸子 会員                                   |



五島支部1月例会はゲスト2名を加えた合計17人の出席です。うち1名は入会したいとの話になり、しかも五島支部最年少となる30歳という事で今後若い力の活躍に期待します。今回の報告者は、一度退会しておりましたが去年の9月に復会した松井幸子会員です。

報告テーマにあるショップオーナーになる…というのは資金さえあれば簡単にできるのではという甘く考えておりましたが、松井会員のショップオーナーとは化粧品大手メーカー「POLA」の看板を借りるということでした。



看板を借りるための条件は5つあり、詳しくは書きませんが、簡単に言えば2週間の研修から(どんな理由があっても休んでしまったらアウト)、期間ごとの数百万円売上、指定期間内にスタッフを6人まで増員、そしてショップオーナーとして相応しいかの最終審査。

これらすべての条件を満たして初めて看板をいただけるとのことですが、聞いているだけで口が開いてしまいました。更にそんな厳しい条件の上に、女手一つで育児をしながら達成してしまう松井さんには感服です。よほどきついことだったのだろうと、松井さんの報告途中に涙ぐむ姿がとても印象的でした。

この報告を聞いている会員の方々は、自分の環境・立場はまだ甘いかもしれないと身の引き締まる思いになったのではないのでしょうか。

(文責 浦上 純人)

## 青年経営者会 例会報告

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 日 時   | 1月29日(水) 19:00～21:00             |
| 会 場   | 長崎市民会館 アマランス                     |
| テ ー マ | 濱ちゃんに学ぼう税金の仕組み                   |
| 報 告 者 | 濱村俊介税理士事務所 所長<br>濱村 俊介 会員 (大村支部) |

今年最初の例会が市民会館のアマランスにて開会しました。

今回の例会では、昨年12月中旬に自民党が税制改正大綱を発表していますので、税制改正の内容・今後の税制の見直しを中心に、決算の組み方・税務調査対応のセミナーをしていただきました。個人事業主、法人事業主の両方を視野にわかりやすいセミナーとなりました。

セミナーでは要点をまとめ、税理士の目線から、決算はどのように組んでいくのが良いか、税理士事務所や会計事務所のペースに任せたままになっていないか? 税理士とどのように一緒に決算を組んでいけばよいか?

税務調査について、噂などにとらわれず、本来の税務調査、対策をどのようにしていくかを話していただき、無駄な税金を払わないための沢山の情報を提供していただきました。

私自身、少し誤った認識があったことを感じ、「そうだったのか?」と知る内容も沢山ありましたので、参加いただいた会員皆様にも、新年度を迎える前に良い情報を聞くことができた例会になったと感じました。

(文責 分部 高)

# 中同協 第3回幹事会 九州・沖縄ブロック代表者会議 参加報告

日時：1月10・11日(金・土) 会場：中野サンプラザ

代表理事 金井 政春

令和初の新年は晴天に恵まれた穏やかな暖かい日差しの中で迎えることができました。初日の出もしっかりと拝むことができました。家族、会社、同友会の平穩無事をお祈りし、清々しい気持ちで1月11日・12日中同協第53期第3回幹事会に参加してまいりました。

全国から113名の幹事、中同協役員13名、事務局員59名の185名にて開催されました。広浜会長の年頭の挨拶では米中貿易戦争、イランとアメリカの関係、米朝関係、イギリスのEU離脱等々、世界情勢に注視する必要があるのではないか。また、国内においては自然災害が多発する傾向にあり、リスクが襲って来る1年になるのではないかと何かあった時こそその同友会。各県同友会としても災害時への対応についてマニュアルを作成して共有しておくことの大切さを提言されました。それから、同友会理念の体現者を増やし同友会理念を会外へ広めることは企業づくり、地域づくりに必ず寄与する。そのための組織づくりをしていこうと語られました。

その後、議題に入り最初は中同協50周年・会員5万名達成に向けての現況報告がありました。1月1日現在47,461名と微増に留まっており、目標達成が危機的状況であることを再度認識しなければならぬとの提言の後、会員増強の成功事例として会員数6,000名を超えた北海道同友会の取り組みが報告されました。入会対象者探しとして帝国データバンクに依頼し



て標点50点以上の企業を紹介してもらい、週2回事務局と共に飛び込み訪問して1,000社をまわり、20社の入会につなげました。効率としては褒められたものではないが知らない社長と知り合いになることが楽しい。同友会からの誘いを待っている社長さんもいたそうです。また、相談者を探している経営者もいたそうです。

その後のグループ討論では役員と事務局の本気度の問題であり、役員覚悟と率先垂範、支部長をいかにその気にさせるか大切であるとの意見でまとまりました。中山幹事長からは熱意と本気で役員がいかに動けるか？仲間づくりを楽しくやろう、皆でやろう、最後のその日まで諦めないことを共有して目標達成を目指そうとまとめられました。長崎同友会としても現在は期首から会員数は増えていませんが、先輩達から続いている10年連続会員増の流れを私達の時に止めるわけにはいきません。残り2ヵ月半となりましたが会員の皆様のご協力をいただいて、会員数増強記録を更新して次の代へつないでいきましょう。

副代表理事 中村 こずえ

幹事会では12個の議題があり、特に会員5万名に向けた取り組みとして北海道同友会曾根代表理事の実践報告がありました。

曾根さんは事務局の方と二人で1,000件の企業に飛び込み訪問をされたそうです。勿論、仕事の合間を縫って週に2日程回られたそうです。結果入会に繋がったのはわずかでしたが、とても楽しかったと言われました。代表理事の本気度が北海道同友会の会員の心を動かし、6,000名達成の快挙を成し遂げたのだと感じました。

その後のグループディスカッションも大変盛り上がりましたが、最終的な意見としては理事が本気で取り組んでいないのでは？各地持ち帰り、再度理事会等で真剣に討議する必要があるのでは？と、理事としての

向き合い方が問われる話し合いでした。

沖縄同友会、滋賀同友会には銀行の支店長が会員でいらっしゃるようで、支店長からの紹介も多いそうです。10名のグループでしたが、5県の同友会では理事会資料に各理事の入会者数を毎月入れているようで、これは刺激になるとのことでした。沢山のヒントをいただき、長崎でもまだまだできることはあると感じたグループディスカッションでした。

また、佐賀同友会の平田代表理事より100名達成の報告がありました。一番会勢の少ない同友会で悔しい思いをしたこと、なにくそ！の思いが増強に繋がったこと、少なくとも例会出席率60%を死守すること、全国行事に毎回10名の参加をすること等、感動的な報告でした。参加した皆が勇気を貰ったと感じました。幹事会後の懇親会でも仲間づくりの話で花が咲き、皆さんの同友会に対する熱い思いが伝わるひと時でし

た。長崎同友会は期首から伸びておらず、10年連続増の流れから失速していますが、もう一度理事から立ち上がり今期中にはプラスに転じる行動を起こすことが必要だと思います。

2日目の幹事会終了後、九州・沖縄ブロック代表者会議が開催されました。九州では期首から会員が減っているのは長崎、熊本、宮崎でした。やはり少し肩身の狭い思いですが、3月の幹事会では良い報告ができた

るようにと強く感じました。

また、来期の九州・沖縄ブロック役員研修交流会は宮崎開催との話、青年部九州沖縄ブロック合同例会in長崎の素案について話し合いが行われました。

幹事会では終始5万名達成の話でしたが、長崎同友会も900名会勢に向けて会員一致団結で頑張りました！

### 事務局 山田 幸司

金井代表理事、中村副代表理事と3名で参加させていただきました。

会場に入ると、看板にはなんと大きく「5万名へ楽しく、みんなで、最後まで」の文字が！

※1月1日現在 全国で47,461名 あと2,539名です。

仲間づくりはもちろん、多くの議題に対して既に会場は熱気に包まれていました。

すべての議題が大切な内容ですが、今回のポイントはやはり、議題1の5万名会員達成に向けた取り組みの件です。事例報告は、北海道同友会6,000名達成の軌跡。

代表理事が事務局と共に、1,000社（帝国データバンクの評点50点以上の企業）を飛び込み訪問されたそうです。入会は20名とのことですが、その熱意と行動に皆さん敬意を表されていました。

言うのは簡単ですが、実践するのは並大抵のことではないと思います。

グループディスカッションテーマは、「各同友会の会員増強目標達成に向けてあと2ヶ月どのように行動するか」。

中村副代表理事がグループ長と報告者をされ、「北海道を見習って事務局と回ります！」と宣言。現在、今期の例会ゲストリストの洗い出しに注力中です。

議題3は、第52回定時総会議案・次年度重点方針



(骨子案)の提案とグループディスカッションでした。発表では、「もっとわかりやすく、掘り下げるべきでは？」という厳しい意見もありました。

景況は、一部の地域や業種によって上向きな部分もありましたが、総じて厳しいものでした。

2日目、幹事会終了後、九州・沖縄ブロック代表者会議が開催されました。

主な議題は、まず、5月28・29日（木・金）宮崎で開催される第14回支部長・支部役員研修交流会の内容の詰め。名称が「九州・沖縄ブロック役員研修交流会」に改称されました。

対象は、支部長・支部役員・理事・事務局です。多くの皆さんの参加をお願いします。

続いて、私より2021年1月に長崎で開催される「青年部九州沖縄ブロック合同例会in長崎」について提案させていただきました。数点の修正・再検討依頼がありましたが、各県青年部への熱い支援体制は強く感じることができました。

今回の幹事会で、2022年の「人を生かす経営全国交流会」の長崎開催が承認されました！

全研の熱気よ再び！という思いを込め、準備段階から皆様のご理解・ご協力をぜひお願いしたいと思っています。よろしくお願いたします。

## 2019年度 第2回 中同協経営労働委員会 参加報告

日時：1月29日(水) 会場：TKP新橋カンファレンスセンター

理事・経営労働委員長 宇土 敏郎

### 1. 報告・協議・審議事項

(林 中同協経営労働委員長より問題提起)

・労使見解の理解と実践の推進

- ①学び方が意識されていないのでは
- ②同友会運動のためと考えてないか
- ③経営者の責任が理解されていないのでは

・経営指針成文化・実践運動について

- ①成文化の中に労使見解の勉強を
- ②入会会員が経営指針をつくるような体制
- ③経営指針に地域課題を入れる

・企業変革支援プログラムの普及

- ①ステップ1の登録進んでいない
- ②活用の仕方を考える

・労使関係の今日的課題について



- ①働く環境づくりの手引きの活用
- ②就業規則の見直しについて
- ③2月～3月働く環境づくり強化月間の提起をしたい
- ・5万名運動に向けて
- ①経営労働も外部に同友会の良さを発信する
- ②同友会らしい企業づくりで推進すると提起があり、審議議論した。
- ⇒1. 労使見解理解の方法を再度、検討したい
- 2. 経営指針成文化に労使見解を連携する
- 3. 企業変革支援プログラム推進を再考する
- 4. 働く環境づくりは経営者塾の柱としたい
- 5. 経営労働委員会の重要性を再認識した
- 2. 経営指針成文化・実践運動の発展を目指して（事例報告・グループ討議）

## 県経営労働副委員長 平野 大介

### 第1部 報告・協議・審議事項

（林 中同協経営労働委員長より問題提起）

- 1 企業づくりにおける「総合実践を阻む3つの壁」
- 1. 自らの経営課題を「労使見解」の見地から解決する姿勢はあるか
- 2. 同友会活動と自社経営を「不離一体」にする姿勢があるか
- 3. 責任を持って「社員を信頼する覚悟」を持っているか
- 2 「ビジネスと人権指導原則」
- 国別行動計画（外務省）に関連して
- 1. 中小企業分野では中同協のみ委員を作業部会に出しており、経済分野の経団連と並んで討議している。
- 2. 「労使見解」が世界的な視野で誇れる内容と評価されたことも共通して、「労使見解」を実践する同友会への外部評価が高いことに確信を持つ必要がある。
- 3 経営指針成文化・実践運動について
- 1. 経営指針成文化の過程で「労使見解」を組み込み、「実践の手引き」「企業変革支援プログラム」、「労使見解」を連動して学びを深める
- 2. 入会会員が「経営指針」を作成することを保障で

- ・事例報告：奈良同友会より
- 奈良の10年間の経営指針成文化の変遷と課題解決の対策が報告された

（報告趣旨）

- ①成果が出ているのは理事の協力があつた
- ②青年部との連携ができていた
- ③2年目よりアドバイザーになった
- ④できては毎年参加している
- ⇒長崎も来期からのカリキュラムを再考する
- 新入会員オリエンテーションも経営者塾に入れて、労使見解・経営指針も追加する

（総括）

林委員長より、10年前の経営労働委員会の活動は、労使見解と経営指針の成文化だけだった。今は更に企業変革支援プログラム、働く環境づくり、就業規則の見直し、外国人労働者の受け入れなど多くの課題に積極的に取り組んできた。今後は最低賃金の引上げ、グローバル化への対応など新たな課題も見えているが、基本は変わらないとの提起がありました。長崎は10年前も今も変わっていない気がします。来年度は経営労働委員会変革元年と位置付け委員会の活性化を図っていく覚悟をしました。

きる規模と内容。

- 3. 地域課題を経営課題としてとらえ、経営指針に位置付ける視点を大切にする。
- 4 企業変革支援プログラムの普及と改訂
- 1. 支部例会や行事企画でどのように位置づけるかが重要。
- 5 5万名運動に向けて「増強する経営労働委員会」になろう
- 1. 外向きに発信していくことが求められる
- 2. 経営労働委員会こそが、同友会の質と量を発展させるべく尽力することが求められる

### 第2部 経営指針成文化・実践運動の発展を目指して（事例報告・グループ討議）

- ・事例報告：奈良同友会
- 奈良の10年間の経営指針成文化の変遷
- ・課題・対策が報告された

（報告内容）

- 1. 理事から一般会員に至るまで経営指針成文化に取り組んだこと
- 2. 青年部の受講者も多い
- 3. 受講者は作成した翌年以降もアドバイザーとして携わっている
- 4. 継続して指針の成文化に取り組んでいる

5. 県外からも講師を要請して質の向上を図っている
6. 会員の成熟が進み、カリキュラムごとに講師を分担して更なる躍進につなげている

(考察)

経営指針成文化はもとより、経営指針を社員と共有していく手法として、「労使見解」を重視されていた。

経営指針を実践し現実的な成果に結びつける役割を「労使見解」が担うと確信した。

### 第3部 学習・意見交換と協議事項

講師 国際労働機関 ILO 田中 竜介氏

#### 1 持続可能性

1. 現状の社会システムを未来へ繋げるサステナビリティの実現
2. SDGsの目標8「ディーセントワークと経済成長」は重要課題である

#### 2 働き方改革

1. 労働時間法制の見直し及び労使対話
2. ライフワークバランスと差別をしないことの価値
3. 会社全体での議論+サプライチェーンにおける議論
4. 情報共有とピア・ラーニングによる底上げ

#### 3 最低賃金

1. 地域格差をどうやって埋めていくのか

2. 業種ごとにも細かく対応策をつくり施策で不平等にならないように留意

#### 4 ディスカッション

(考察)

賃金より休み方を大切にする傾向なので柔軟に対応する必要がある一方で、経営指針をきちんと示し、賃金上昇の担保をとることで、安定的な基盤を持続させ経営者の責任を果たしていく必要があると感じた。

(総括)

経営指針成文化の重要性については言うまでもないが、経営指針を実現するために「労使見解」というものがあるということに感銘を受けた。

経営指針成文化で本当に業績向上ができるのか、社員の反発にどう対処していくのかという課題に明確な答えを見出すことができた。

一方で世界の潮流を受けての日本の方針を捉えることで、新たなビジネスモデルの創出と、人間らしく働きやすい環境整備を率先して実現する姿勢を示すことこそ、世界的な評価につながり政府からも頼りにされる中小企業家団体として、確固たる立場を確立していくことで、中小企業家同友会の躍進に繋がるのではないかと考える。

## ダイヤモンドクラブ 新年会 開催報告

日時：1月27日(月) 会場：炉談



ダイヤモンドクラブは、代表理事経験者・20年以上在籍の方・現役代表理事・事務局長で構成される組織です。

今回は、経営フォーラムの慰労会を兼ね、24名の参加でリニューアルされた岩崎さんのお店「炉談」で終始熱気に包まれて開催されました。

経営フォーラムの尽力に敬意を表し馬場諫早支部長によるスローガン唱和、金子会長の「我々は現役だ!」という挨拶にはじまり、初参加の大塚真一さん(大村



支部)の紹介と一言と続きました。

今回はゲストとして、安井さん(長崎出島支部)、谷さん(大村支部)にお出でいただき、経営フォーラムの分科会のミニ報告をしていただきました。1時間の報告内容を10分程度で披露していただくという至難の業に快く対応してくださったご両人。じわじわと当日の様子がよみがえってきました。

新年懇親会の乾杯は、もちろん経営フォーラム実行委員長の平湯さん。たいへんご苦労があられたにも関わらず、皆さんへの感謝の意を述べられました。

永年司会の品川さん(ご子息はなんとラグビー高校日本代表監督)の軽妙な進行で盛り上がる中、一人一言タイムに入ると多岐に渡る内容でその盛り上がりはさらにヒートアップ!



詳しくは言えないと言われながらも壮大な仕事に取り組まれている方、大運動会は忘れることができない私は一生涯同友会と宣言された方、ダイヤモンドクラブのバッジを付けてこないとは何事か！と喝を入れる方 等々。

最後は、松尾相談役が仲間づくりについて各支部の現状と対策について厳しくチェックされ、「ひとりが一人の入会」を確認しました。

本当にあつという間の3時間でした。来期は新規対象の10名を合わせると71名となるダイヤモンドクラ



ブ。長崎同友会の更なる牽引をよろしくお願いいたします。

(文責 事務局 山田 幸司)

## 会員活躍

オープンした高来メモリードホール  
—諫早市高来町



長崎新聞 1月25日 長崎浦上支部 吉田清規 会員ほか

メモリード（総合本部・西彼長与町）は24日、諫早市高来町に斎場「高来メモリードホール」をオープンした。同社の斎場は同市内4カ所目、全国144カ所目。同社によると、JR湯江駅に近い敷地面積1982平方メートル。工場だった2階建て建物のうち1階部分（床面積748平方メートル）だけを改装し利用。ホールは最大250人を収容可能で、ゆったりとした造り。小ホールで少人数の家

## 高来に斎場オープン

メモリード

諫早市内4カ所目

族葬にも対応する。駐車スペースは100台分を確保する予定。月7件程度の利用を見込む。記念イベントとして25・27日の午前11時から、見学会や会員システム説明会、葬儀事前相談会、遺影撮影会（要予約）を実施。昼食を1日200食限定で提供する。いずれも無料。申し込みは高来メモリードホール（電話09567・27・7983）へ。（後藤敦）

(上) 長崎新聞 1月24日 長崎出島支部 黒木 浩司 会員  
(下) 長崎新聞 1月25日 諫早支部 佐藤 快信 会員

## 県内4企業・法人を表彰

ながさき女性活躍推進会議



表彰を受け、女性活躍推進の取り組みについて発表する企業の代表者  
—長崎市、メルカつきまち

産学官で連携し女性の活躍を推進する「ながさき女性活躍推進会議」は22日、2015年度から始まり女性の登用や能力開発などに積極的に取り組んでいるイテックスリテール西九州として、県内4企業・法人（諫早市）、社会福祉法人

長崎厚生福祉団（長崎市）、優秀賞にチュウリツヒ保険長崎オフィス（長崎市）が選ばれた。長崎市築町のメルカつきまちであった表彰式で、同会議の宮脇雅俊共同代表が各企業・法人の代表者に表彰状を贈った。取り組みの紹介もあり「育休中の女性社員の復職セミナー」に上司も参加（リコージャパン長崎支社）、「保育所に預けることができない日曜祝日や長期休暇中などに事業所内保育施設を開園」（長崎厚生福祉団）など、動き続けやすい環境整備に関する情報を共有した。約160人が来場。立命館アジア太平洋大の出口治明学長の講演もあった。（清水嘉子）

KPGーと長崎ウエスレヤン大

## 地方創生へ連携協定



協定を喜び握手する田中社長（右）と佐藤学長  
—諫早市、長崎ウエスレヤン大

長崎市伊王島町1丁目のリゾート施設「アイランドナガサキ」を運営する「KPG HOTEL&RES OR」（田中正男社長）と長崎ウエスレヤン大（佐藤快信学長）は、地方創生・同社が今後のインバウンド対応人材養成などを

で協力態勢を構築したい」と申し出た。田中社長は「は、多くの留学生在籍し国際色豊かな同大と、互いに切磋琢磨して良い人材を輩出したい」とあいさつした。佐藤学長（61）は「これまでも田中社長の多様性社会実現に向けた活動や、住民と共に地域活性化を目指す姿勢は、本学が掲げる理念と重なり共感する。産学連携が次代を担う学生の学びを発展させることにむかっ感を抱いている」と期待を込めた。今後、観光土産の共同開発や学生の長期インターンシップなどを予定している。田中社長は同大客員教授に就任する。（柴田英樹）

# 事務局企業訪問

長崎市で和服総合加工を行う長崎浦上支部  
(有)京弥の齊藤 誠史さんを訪問させていただきました。

## 【京弥】



1966年に齊藤さんのお父さんが着物のお手入れ・加工専門店として創業します。無店舗での創業でしたが、のちに店舗を構え3度の移転後に現在の長崎市橋口町に加工センターを設立しました。

現在は着物のしみ抜き・仕立・紋章加工・撥水加工など和服の加工や仕立そしてお手入れまでトータルサービスを自社で行っています。

創業時は着物のしみ抜きからスタートしましたが、現在では着物のトータルサポートを行い、かけつぎや柄たしや柄の復元なども手掛けています。また仕立てについては30年以上前からベトナムの工場と提携するなど海外展開も行っています。

## 【事業承継】

齊藤さんは、当初家業を継ぐつもりはなく大学卒業後は建築関係の仕事に就きたいと思い就職活動をしていました。しかし建築会社就職の担当教授との最終面談の前日に、お父さんから「会社を継ぐのか継がないのか？」と問われます。これまで継ぐことなど考えていませんでしたが、継ぐことが親孝行になるのであればと迷った挙句に家業を継ぐことを決意しました。

入社後は3年間、県外で修行をし、技術者としての基礎を学び長崎に戻ってきました。戻った当初は技術者としての仕事为主でしたが、部長への就任やお父様の怪我をきっかけに徐々に経営にも携わるようになり、その後事業承継をしました。

## 【2代目としての取り組み】

### ＜技術力＞

京弥の強みは高い技術力です。お父さんの代から技術にこだわり、齊藤さん自身も国家検定1級染色補正技能士の資格を持ち、2017年 第29回技能グランプリの染色補正職種にて銅賞、2019年 第30回技能グランプリにて敢闘賞を受賞されました。次は金賞を目指しており、齊藤さんも考えて工夫をすること

が楽しく自身を伸ばすきっかけになっているそうです。

### ＜商品開発＞

着物は保管が大変なため、その問題を解決して着物のユーザーを増やそうと「つる子さん」というクローゼット着物ハンガーを自社で開発しました。これは着物をクローゼットに吊るしてコンパクトに収納ができるものです。最近では収納だけでなく、商品のディスプレイにも使われるようになり、全国から問い合わせがあるそうです。着物業界の困りごとを解決しようという取り組みから生まれた商品です。

### ＜理念づくり＞

理念や経営計画が京弥にはありませんでした。そこでたまたま同友会の経営指針実践セミナーの案内を目にしたことがきっかけで、セミナーに参加し理念の策定に取り組みました。

齊藤さんは策定した理念をいきなり社員さんに押し付けると拒否反応が出ると考え、「これは我社の経営のかじ取りになる羅針盤なので、判断に迷ったら理念に従って判断してください」と社員さんに伝え、朝礼や話の中で繰り返し理念に沿った判断かを確認をしながらすすめることでスムーズに浸透していきました。まだ目に見えた効果はありませんが、社内が少しずつ変わってきたと感じているそうです。

### 【これから】

齊藤さんは観光地である長崎で着物のレンタルや着物を土産物として販売をしたいと考えています。着物を着て観光地を巡り食事などを楽しむことで着物の良さを知ってもらえるのではと、着物文化を広く伝えていこうという齊藤さんの思いが伝わりました。

今回の企業訪問では、お父さんから技術への強いこだわりを受け継ぎつつ、2代目である齊藤さんが理念づく



りや新商品の開発、着物文化の底上げなどに取り組むことで、さらに強固な組織づくりにつながっているのではと感じました。

今回はお忙しいところお時間いただきありがとうございます。これからの齊藤さんのご活躍を祈念いたします。

<会社概要>

(有)京弥

住所：〒852-8114 長崎市橋口町16-10

TEL：095-849-1110 FAX：095-842-1571

<経営理念>

- ・私たちは、共に学び共に栄えることを誓います。
- ・私たちは、着物を通じて地域と共に発展していくことを目指します。
- ・私たちは、お客様の着物への思いを大切にし、笑顔になっていただけるようなサービスを提供します。



(文責 事務局 田口 友廣)

新入会員の皆さんです <1月入会・交代>

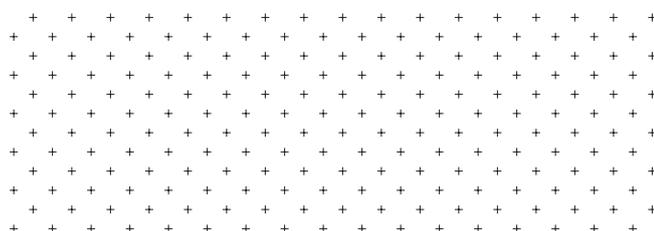
(敬称略)

<入 会>

|         |  |       |              |
|---------|--|-------|--------------|
| 支 部 名   | 佐世保支部  |       |              |
| 氏 名     | はまだ けんじ<br>濱田 憲治   |       |              |
| 企 業 名   | Office はまだ(株)  |       |              |
| 役 職 名   | 取締役  |       |              |
| 企 業 住 所 | 〒859-3223<br>佐世保市広田3-13-19   |       |              |
| T E L   | 090-3733-5777  | F A X | 0956-59-4785 |
| 業 種     | 米国株式投資   |       |              |
| 企 業 PR  | 倒産、離婚、種々の転職の後、1998年に家賃1万円のアパートから再出発する。02年、48歳の時に司法書士試験に合格。現在も熱いチャレンジを継続中。モットーは「俺の行くところ日本晴れ」。断酒&禁煙歴21年。どうぞよろしくお願いします。 |       |              |
| スポンサー   | 倉科 聡一郎   |       |              |



|         |   |       |  |
|---------|---|-------|--|
| 支 部 名   | 佐世保支部   |       |  |
| 氏 名     | よしかわ ゆうこ<br>吉川 ゆう子  |       |  |
| 企 業 名   | ラウンジ蝶花  |       |  |
| 役 職 名   |   |       |  |
| 企 業 住 所 | 〒857-0878<br>佐世保市山県町2-8<br>山縣ビル101                          |       |  |
| T E L   | 0956-25-7078  | F A X |  |
| 業 種     | ラウンジ  |       |  |
| 企 業 PR  | 落ち着いた雰囲気のお店で佐世保の夜をお楽しみください。カウンター、ボックス席で皆様のご来店を心からお待ちしております。 |       |  |
| スポンサー   | 浦崎 健治・平倉 浩  |       |  |



<交 代>

|         |                         |       |              |
|---------|-------------------------|-------|--------------|
| 支 部 名   | 大村支部                    |       |              |
| 氏 名     | こにし よしあき<br>小西 良明       |       |              |
| 企 業 名   | パークベルズ大村                |       |              |
| 役 職 名   | 支配人                     |       |              |
| 企 業 住 所 | 〒856-0836<br>大村市幸町25-30 |       |              |
| T E L   | 0957-54-3131            | F A X | 0957-54-3184 |
| 業 種     | 冠婚葬祭業                   |       |              |
| 前 会 員   | 村山 靖二                   |       |              |



|         |                          |       |              |
|---------|--------------------------|-------|--------------|
| 支 部 名   | 諫早支部                     |       |              |
| 氏 名     | かすたに たけし<br>粕谷 武史        |       |              |
| 企 業 名   | タチカワ(株)                  |       |              |
| 役 職 名   | 代表取締役                    |       |              |
| 企 業 住 所 | 〒854-0037<br>諫早市川内町501-7 |       |              |
| T E L   | 0957-24-0110             | F A X | 0957-24-1300 |
| 業 種     | 事務機販売業                   |       |              |
| 前 会 員   | 帆足 昌芳                    |       |              |



|         |   |       |              |
|---------|---|-------|--------------|
| 支 部 名   | 諫早支部  |       |              |
| 氏 名     | みぞこし りょう<br>溝越 稜                                  |       |              |
| 企 業 名   | TM事務ソリューション                                       |       |              |
| 役 職 名   | 後継者   |       |              |
| 企 業 住 所 | 〒854-0022<br>諫早市幸町41-3                            |       |              |
| T E L   | 0957-46-3900                                      | F A X | 0957-46-3901 |
| 業 種     | 経理支援・freee導入支援                                    |       |              |
| 企 業 PR  | freeeの導入支援、及び操作・運用支援を行ない、会社の事務の流れの効率化のお手伝いをしています。 |       |              |
| 前 会 員   | 奥村 大悟   |       |              |



## 2月理事会 報告

2月6日(木) つくば倶楽部 出席26名、欠席9名

### 開会あいさつ (抜粋) - 金井代表理事

年度末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。昨日は県北事務局設置に向けた県北との意見交換会を開催しました。忌憚ない意見をいただき現段階では設置は難しいかもしれませんが協力して進んでいこうという確認を行いました。三役からの代替案として何か支援策を検討し3月の理事会(組織検討委員会)には提案したいと思います。仲間づくりについては本日中同協田浦副会長からメッセージが届きました。また中山幹事長も常に話されていますが、「最後まで楽しく全員でやり抜こう」という気持ちでご協力をよろしく願います。

### 仲間づくりについて

- 1) 入会・復会交代・退会の承認について  
- 5名の入会、1名の復会交代、5名の退会を承認
- 2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について  
・原田仲間づくり委員長 総括(欠席のため、田中新委員長予定者)  
2月1日の委員会では委員交代に伴い、仲間づくりの意義など考え方を継続させていくため、委員会内で勉強会を開催するなどの意見も出ました。また会歴が浅い会員は比較的他の知り合いが多いという意見もあり、各支部で会歴が浅い会員を中心にアプローチいただき紹介者を掘り起こしてください。10年連続で純増してきた流れを断ち切ることなく、期首を上回るよう各支部仲間づくりの日に向けてご協力をお願いします。

### ・金井代表理事

委員会に毎回参加しています。新しい会員が情報を持っていると思いますのでリストに基づき支部長、役員の方を中心に紹介者を募ってください。先日は中村副代表理事と山田事務局長が企業訪問をされました。私も何名か紹介し、その中で当日不在のためお会いできなかった方からお礼の電話もいただきました。自分では入会には至らないと思っていた方でも他の方が訪問するなど行動を起こせばまた違う結果が生まれる可能性もあります。今までの流れを止めないように、とにかく最低でも期首を上回るよう支部長を先頭に全員で取り組んでいただきますようお願いいたします。そしてこの流れを次につなげていきましょう。

### 協議・承認事項

- 1) 賀詞交歓会の振り返りと収支の大枠承認について  
- 田口事務局主任  
・登録・出席状況 / 来賓47名(講師含)

|         | 浦上 | 出島 | 大村 | 諫早 | 島原 | 佐世保 | 北松浦 | 五島 | 合計  |
|---------|----|----|----|----|----|-----|-----|----|-----|
| 目 標     | 35 | 35 | 20 | 20 | 15 | 30  | 5   | 5  | 165 |
| 登 録     | 24 | 40 | 13 | 13 | 14 | 10  | 0   | 3  | 117 |
| 出席(会員)  | 19 | 33 | 12 | 12 | 13 | 9   | 0   | 3  | 101 |
| 出席(ゲスト) | 1  | 2  | 0  | 0  | 1  | 0   | 0   | 0  | 4   |
| 出 席 計   | 20 | 35 | 12 | 12 | 14 | 9   | 0   | 3  | 105 |

- 2) 来期に向けて

①委員会活動方針案の承認と支部活動方針案の確認について

→委員会の活動方針案を承認、総会へ上程。支部活動方針案について確認。

- ②役員人事の承認について - 山田事務局長

・佐世保支部長の変更 永末勝宏さん⇒山崎秀平さん  
→承認。総会へ上程。

- ③予算申請について - 各委員長

→(経営労働委員会)中同協経営労働委員会への副委員長の出席対応について承認。県委員会についてはできるだけ全支部から出席いただくよう依頼。  
→(共育委員会)社員共育大学についてアンケートを行い、返信内容を精査したうえで開催することを承認。  
→(共同求人委員会)共育委員会の活動を含めたパンフレットを作成することを承認。  
→(4委員会)経営者塾 web講座については、再度委員会で検討。期中発生行事費について承認。

- ④定時総会について - 山田事務局長

→案内案を承認

- ⑤第27回 経営フォーラムについて - 田中支部長

・テーマ案 「未来創成」  
～出島から革新と進化を未来へ～  
→承認

- ⑥青年部 九州・沖縄ブロック合同例会 in 長崎について

- 飛田青年経営者会会長  
→予算案修正について実行委員会で再度検討

- 3) 西海みずき信用組合からの共催開催依頼の承認について - 山田事務局長

3月19日(木) 14時 アルカスSASEBO 九州経済産業局による「中小企業支援施策・予算説明会」  
→承認

### 報告・連絡事項

- 1) 1月 県本部・支部・委員会等の活動状況について

|    |   |
|----|---|
| 例会 | 1、各支部12月例会の「評価・検証」報告<br>2、2019年度の振り返り・第5次ビジョン進捗状況アンケートについて<br>3、2020年度に向けて<br>4、事務局より、その他持ち寄り議題<br>4月頭に新旧例会委員で委員会と懇親会を行うことで決定。  |
| 経労 | (今回の活動)<br>2-1 「経営者塾」の開催<br>⇒各支部委員長に協力要請済<br>・大村支部<br>⇒2/27 経営者のための財務講座 開催予定<br>・五島支部<br>⇒2/2 経営理念作成セミナー 開催<br>・諫早支部<br>⇒1/28 経営理念作成セミナー 開催<br>2-2 「経営指針実践セミナー」の開催<br>⇒1/18 第7回開催<br>参加者7名 / 申込み14名+ゲスト1名 |

|             |   |
|-------------|---|
|             | <p>1/15 島原支部 第4回開催<br/>参加者7名/申込み13名</p> <p>2-3 県委員会と支部委員会活動の活発化<br/>※支部での例会報告<br/>・2月 長崎出島支部 宇土会員 報告<br/>⇒経営労働委員会の活動報告を予定</p> <p>2-4 その他<br/>第5次ビジョン達成に向けて<br/>・アンケート実施→e.doyuにて配信+各支部<br/>委員長が100%回収を目指す</p> |
| 共有          | ビッグデータセミナー開催に向けて打合せ中  |
| 政策          | <p>■1/23(木)諫早支部1月例会にて報告<br/>「諫早まちづくりサミット」として開催された上記例会にて中小企業振興基本条例の必要性を大村市の事例を出しながら訴えた。各人が思い描く地域の具体的な将来像を聞き出し、それを実現するにはそのための仕組みが必要との組み立てで報告を行った。</p>   |
| 情報<br>広報    | <p>1. 広報誌 編集会議<br/>2. ホームページについて<br/>3. e.doyu利用<br/>・12月アクセス状況は60%<br/>4. その他・情報交換<br/>・第5次ビジョン進捗状況アンケートについて再確認(前回議事録確認)<br/>・2019年度活動報告について<br/>・2020年度活動方針(案)について<br/>・e.doyuについて<br/>・広報誌電子版について</p>      |
| 仲間<br>づくり   | <p>2月18日の仲間づくりの日開催に向け具体的な取り組み内容について確認。<br/>入会3年未満の会員を中心に新規会員紹介を促すことを確認。<br/>今期最後の仲間づくりの日ですので、各支部 取組みよろしくお願いたします。</p>  |
| ビジョン        | <p>各委員会の“第5次ビジョン”進捗アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。<br/>三役会・事務局にも検証していただき、ビジョン委員会が取りまとめ・フィードバックを行います。</p>  |
| ダイバー<br>シティ | 3/16(月)に委員会開催予定   |

|                |  |
|----------------|--|
| 共同<br>求人       | <p>■1/20 第7回共同求人委員会開催<br/>・会員への「採用に関するアンケート」の実施(2月三役会/理事会で提案)<br/>・共同求人委員会のパンフレット作成<br/>・「NAGASAKIしごと未来博」=同友会の業種業界説明会として会員へ出店推奨<br/>・県委員会の参加者を役員以外の一般会員にも拡大したい<br/>・産業労働部廣田部長との意見交換会→2/21 15時より</p> <p>■共同求人流布活動(同友会らしい求人活動の実践報告)<br/>・島原支部1月例会(1/23)<br/>「選ばれる企業づくりの実践」野方副委員長(諫早支部)</p> |
| 青年<br>経営者<br>会 | <p>1/15役員会。12月臨時総会の感想報告、1月県南エリア例会への参加状況についてなど、また九州沖縄合同例会について議論しました。<br/>1/29に県南エリア例会を開催。現在会員数は71名です。</p>   |

2) 例会について(更なる充実をめざして)

ー本多例会委員長

12月は忘年例会などが多かったように思う。また2月、3月の例会企画書の内容が詰まっていないように思う。経営課題やどんな経営課題を持った会員がいるのかを検討しながら例会のねらいなどを決めていただきたい。そのために報告内容のシミュレーションとグループディスカッションのシミュレーションも大事になるので各支部対応をお願いします。また11月からの例会に賞を設けているが、現在島原支部が3冠という現状です。

3) その他

・2月3日(月) 長崎サミット傍聴報告ー峰事務局次長  
ご登壇者のうち、経済同友会の坂井代表幹事から「地元で元気がある団体として中小企業家同友会からもいろいろな意見を聞いてはどうか」という発言をいただいた。同友会の認知度も高まってきたと再認識できた。

※ 次回開催 3月5日(木) 19時 つくば倶楽部

会員動向

●企業住所等変更

岡村 雅彦 会員 (長崎浦上支部)  
新役職: 社長室 室長

立山 雅也 会員 (長崎出島支部)  
新住所: 長崎市宿町729-1

久松 恵 会員 (長崎出島支部)  
新住所: 長崎市鍛冶屋町5-10 2F

太田 陽子 会員 (大村支部)  
新FAX番号: 0957-46-3941

豊福 和明 会員 (佐世保支部)  
新住所: 佐世保市天神5丁目9-26

退会者 (敬称略)

会 員 数 (2月1日現在)

|    | 浦上  | 出島  | 大村  | 諫早  | 島原 | 佐世保 | 北松浦 | 五島 | 合計  |
|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|
| 目標 | 134 | 130 | 125 | 100 | 90 | 200 | 45  | 38 | 900 |
| 期首 | 113 | 112 | 97  | 91  | 68 | 181 | 42  | 31 | 735 |
| 現在 | 111 | 114 | 101 | 87  | 67 | 181 | 37  | 32 | 730 |

| 会員名   | 会社名               | 支部名  | 入会年月      |
|-------|-------------------|------|-----------|
| 吉田 将裕 | マッサジャパン(同)        | 長崎出島 | 2019年 1月  |
| 石丸 徹郎 | (株)フォーオールプロダクト    | 佐世保  | 2015年10月  |
| 出口 寛幸 | (株)D's LDC office | 佐世保  | 2018年 8月  |
| 日高 雅之 | (株)西九州メンテナンス      | 北松浦  | 2015年2月復会 |
| 吉永 重隆 | (有)吉永造園建設         | 北松浦  | 2012年 5月  |

